



Green Gift プロジェクト

きたネット PRESENTS ～親子で参加しよう、自然体験プロジェクト～

あぜ道散策と田植え体験・・・実施報告

～田んぼプロジェクトで田植えを体験！～

いつも食べているお米はどうやってできるんだろう?! みんなで裸足になって田んぼに入り、お米の苗を植えてみよう。

おいしい農園ランチで満腹になった後は、田んぼの周り（あぜ道）を散策して、いろいろな昆虫を探したり、野菜の話を聞いてかぼちゃの苗を畑に植えます。



開催日 2014年5月31日(土)

場所 鈴木農園(三笠市萱野26番地)

内容 稲と苗と田んぼと水のお話～田植え～農園ランチ～あぜ道散策(雑草の話と昆虫探し)

参加者 46名(家族参加8組)+スタッフ14名 合計60名



27℃を超える炎天下のなか、大人も子どもも真剣に田植えを開始。お子さまづれのご家族は、ほとんどが田植えは初体験とのことで、はりきって参加してくださいました。



子どもに「お米」の本を読み聞かせ、田植えのレクチャーをして、田んぼに向かいました。始めに田んぼに入るときはおそろおそろ。でも慣れると泥の感触が気持ちいいです。



子どもたちはのみこみが早く、すぐにきれいにまっすぐに苗を植えていました。田んぼ1枚植え終わった後は、みなさん「植えたー！」とやり遂げた笑顔でいっぱいでした。

田植え後、水を引かれます。この水は赤平の山から流れてきた自然の水で、南幌町まで流れて農業に役立っているそうです。私たちの生活は自然からたくさんの恩恵を受けています。美味しいお米を作るためにも、北海道の自然を大切にしなければなりませんね。



作業後の農園ランチは、札幌からシェフが助っ人で参加してくれて、鈴木農園で採れたての有機野菜のサラダ、タンドリーチキン、ポーク炭火焼き、根菜たっぷりの豚汁、炊きたて白米。羽釜で炊いたご飯のおこげには大人が喜び、焼きおにぎりには子どもたちが殺到していました。ランチ後はあぜ道の昆虫探し、最後は感想をうかがい閉会しました。

今日の体験を忘れずに、引き続き田んぼの様子を見にきてほしいですし、稲刈りにも参加していただければと思います。また、これをきっかけに、それぞれの家庭でお米をもっとたくさんおいしく大事にいただいてください。



Green Gift
地球へ、未来への贈りもの。

Green Gift プロジェクトとは

東京海上日動火災保険株式会社が、ご契約時にお客様に「ご契約のしおり(約款)」等をホームページで閲覧する方法を選択いただくことにより、紙資源の使用量削減額の一部で環境保護活動をサポートするものです。

2013年より各地域の環境NPOと協力して、主に子どもたちとそのご家族を対象とした環境保護に関する体験活動を行います。

環境保護に関する体験活動を通じて、子どもたちが身近なところから環境について考えるきっかけを持つことによって、持続可能な社会が実現することを目指しています。

共催  協賛  協力 

主催：認定 NPO 法人北海道市民環境ネットワーク、スローフード フレンズ北海道

共催：認定 NPO 法人日本 NPO センター

協力：環境省北海道環境パートナーシップオフィス

協賛：東京海上日動火災保険株式会社

後援：環境省

運営協力：鈴木農場